

が、尙仔細に内容を精査致しますと、決して現状を以て満足すべきものではなく、殊に本會も今から三年後には満三十周年の記念日を迎えて所謂壯年期に入るのでありますから、會員の數に於ても亦財産の増加は勿論、會務に對しましても今後益々強化擴充を圖つて、本會の使命達成上役員初め會員一同一層の御奮勵あらんことを希望する次第であります。

尙ほ只今本多金屬學會長から鐵鋼協會と金屬學會と相提携していろいろ研究會を開いたらよといふお話でございましたが、本會の研究部會に規則がありまして、七つの部門に分れて居りますが、他の學術團體と聯合して開會した例は熔鋼の温度測定に關しまして學術振興會第十九小委員會と聯合して講習會を開いたことがあります。尙その他と致しましては耐火物の研究會を十三回開いて居りますが、これは窯業協會と聯合してやつて居ります。又機械學會と聯合しまして自動車用鋼の研究會を五回開いて居ります。又鑄物協會と聯合して鑄物に關する討議を致したこともあります。本多博士から先程毎月やつたら宜からうといふお話がありました。電氣爐研究會の如きは總會は五回であります。小委員會の會合といふものはこの三、四年の間に六十何回開かれて居るのであります。事業の御多端な際にも不拘毎月お集り下さつて、洵に有益なる材料を得て居るやうな次第であります。學術方面に付きましては十九委員會もありませんことでございますが、本會の研究部會の内規に於きましても科學部會と云ふ項目があるのでありますから、先程も久芳さんなり尾藤さんからいろいろ御註文が出ましたが、さういふやうなことに付ても金屬學會と共同して科學的にこれを研究するといふことも洵に時宜を得たことと考へまして、本多博士の御提案に双手を擧げて賛成致す者でございます。これを以て御指名の責を果します。(拍手)

渡邊會長 此の機会に未だ澤山お話をお願いいたしたい方もお居でになります。ダンダン時刻も遅くなりますので、最後に松下さんをお願い申し上げます。

松下長久君 (新任會長)

既に時間も大分過ぎまして、此の會館の規則では九時に閉めることになつて居りますので、簡単に御挨拶を申し上げます。

先輩各位、前會長方から御意見、御感想、又御希望等が出て居りますので、私はさういふ事は差控へまして一言申上ります。今回

役員改選の結果前會長渡邊さんの後をやるやうにとの御指名を戴いたのであります。又先程河村前會長から私がこの會には長くいろいろの役を務めて居るから嘸かしやるだらうといふやうな、大變御期待の言葉を戴いて心中甚だ忸怩たるものがあるのであります。私は學校を出ましてから幸ひにも一つ會社に三十年務めて居りますので、先程渡邊さんは新進と仰しやいましたが、その渡邊さんとは殆ど年も違はないのであります。不幸にして頭の毛が黒いものでありますから、時々私は若く見られまして、非常に損を致して居ります。併しまあ戯にもならないのはこの頭の黒い爲めではないかと思ひまして、一方又心頼みに致して居る次第であります。齋藤前會長は私の恩師であらせられまして、幸か不幸か前會長に非常な會員増加の件を御引継になりまして、これが又私の方へ廻つて參つたといふ譯であります。併しこれは會長一人の力では出來ないのであります。勿論役員方の御努力も戴かなければなりません。先程もお話がありましたやうに、會員一人の方が一人の會員を御推薦下さるといふやうなことで初めてこの會が發展が出来るのだらうと思ふのであります。私も相當多忙でございますが、出来るだけ勉強を致す積りでありますから、それにお免じ下さして、何卒會員増加に付ては私だけにその重責を御擔はせなく、皆様方にもこれを分け戴くやうに、この機會を利用してお願い申上げる次第でございます。幸ひにしてこの會も非常に發展を致し、又昨年十二月八日の御詔勅渙發に依りまして吾々の心持が非常に朗かになり、又皇軍勇士方の前線に於ける御奮闘に依りまして、所謂大東亞共榮圈が確立することが分りましたことは御同慶の至りでございます。申すまでもなく鐵鋼は總ての工業の基礎でございますからして、鐵鋼協會はそれに對して十分なる努力を致さなければならぬと存じて居ります。今回會長に御推舉になりましたので今後一層勉強致す積りでありますから、どうぞ何分宜しく御援助、御指導戴きたいと思ひます。甚だ簡単であります。是を以て私の御挨拶と致します。(拍手)

渡邊會長 尙色々承ることがあらうと思ひますが、又明日も早朝から始まることでもありますので、遺憾ながらこれを以て會を閉づることいたします。お忙がしいところを永らく御列席下さしまして有難うございました。厚くお禮を申し上げます。(拍手)

日本鐵鋼協會製鐵製鋼用參考品展覽會記事

期 日 昭和 17 年 4 月 5 日、6 日、7 日、 每日自午前 9 時 至 午後 4 時

會 場 東京市芝區海岸通 1 丁目 東京府立工業獎勵館

入 場 者 第 1 日 (4 月 5 日) 480 名、第 2 日 (4 月 6 日) 813 名、第 3 日 (4 月 7 日) 965 名
合計 2,258 名

製鐵製鋼用參考品展覽會出品物一覽

(出品者名及び出品物は次の如くである)

1. 株式會社昭和製鋼所

1. 鐵 鑛 石	弓 長 嶺 産	1 個
	大 孤 山 産	1 個
1. 石 灰 石	甘 井 子 産	1 個
1. 粘 土	煙 臺 産	1 個
1. 螢 石	臥 龍 泉 産	1 個

1. マグネサイト	牛 心 山 産	1 個
1. 耐 火 煉 瓦	マグネシヤ煉瓦	1 個
	鑛 滓 煉 瓦	2 個
	珪 石 煉 瓦	2 個
1. 銑 鐵		1 個
1. 鋼 片		3 個
1. 角 鋼		1 個
1. 管 材		1 個

1. 海 綿 鐵
1. フェロバナヂウム
1. 特殊鋼材 35 點
1. ド リ ル 13 點
1. 酸化チタニウム
1. 砂鐵分布圖
1. 作業工程表
- 9/2 三徳工業株式會社
1. 川越特殊製鋼工場
- (1) MOX 49 mm 丸×2 尺 1 本 10 kg
- (2) MOX 73 mm 丸×2 尺 " 23 kg
- (3) MOX 25 mm 丸×1 尺 5 寸 " 18 kg
- (4) MOX 6 mm 丸×1 尺 5 寸 3 本 15 kg
- (5) STW 1 in 角×1 尺 1 本 10 kg
- (6) STW 10mm 丸×1 尺 5 寸 " 2 kg
- (7) STW 3 分角×4 寸 " 110 g
1. 深江金屬工場品
- (1) 金屬チタン $Ti > 95\%$ 1 個 1 kg
- (2) 金屬クロム $Cr > 98\%$ " 5 kg
- (3)
- (4) 金屬ベリリウム $Be > 98\%$ " 1 kg
- (5) 金屬カルシウム $Ca > 99\%$ 3 各 1 kg
- (6) アルミチタン $Ti > 10\%$ 2 各 5 kg
- $Ti > 50\%$ 5 1 kg
- (7) アルミボロン $B > 15\%$ " 1 kg
- (8) アルミバリウム $Ba > 20\%$ " 1 kg
- (9) アルミチタン銅 各均分 " 5 kg
- (10) ベリリウム銅 $Be > 25\%$ " 1 kg
- (11) チタンカーバイド " 1 kg
- (12)
- (13) フェロタングステン $W > 80\%$ 1 個 10 kg
- (14) フェロモリブデン $Mo > 60\%$ " 10 kg
- (15) フェロバナヂウム $V > 40\%$ " 1 kg
- (16) フェロベリリウム $Be > 10\%$ " 1 kg
- (17) フェロジルコン $Zr > 40\%$ " 10 kg
- (18)
- (19) フェロチタン $Ti > 25\%$ " 10 kg
- (20) フェロボロン $B > 15\%$ " 1 kg
- (21) 切 斷 破 面 9 個
- (22) 鋼 板 1 枚
- (23) バ イ ト 1 個
10. 日本鋼管株式會社
1. 瓦斯管 (ソケット付) 各種
1. 地下埋設用鋼管 (受口付) 各種
1. 油井用繼目無鋼管
- ケーシング, ドリルパイプ, チュービング
1. 罐用繼目無鋼管
1. 變壓器用放熱管
1. 恒久接手鋼管
1. 恒久接手鋼管結合機
1. 中 空 鋼
1. 丸 鋸

1. 縞 鋼 鈹
- 鶴目, 綱目
1. フェロアロイ (金屬マンガン, シリコマンガン, 金屬珪素, フェロシリコン, フェロマンガン, フェロクロム, 無瓦斯フェロマンガン, フェロチタン, スピーゲル, 低炭素フェロマンガン, 低炭素フェロクロム, 高珪素フェロマンガン)
1. トーマス燐肥
1. 轉 爐 模 型
11. 日本製鐵株式會社
1. 田所式高溫計 大 (平爐用 B 型)
1. 同 上 小 (鑄型用 A 型臺共)
1. 溫度と起電力との關係曲線圖
1. 平爐内熔鋼溫度實測曲線圖
1. 鑄型内熔鋼溫度實測曲線圖
1. 測定狀況寫真
12. 株式會社北辰電機製作所
1. 環狀天秤式ガス流量記錄計
1. 溫度自動調節計
1. 光 高 溫 計
1. 熱電式高溫記錄計
1. 熱 電 對
13. 住友金屬工業株式會社
1. 熔鋼溫度測定用住友式高溫計
14. 商工省中央度量衡檢定所
1. 製鋼用高溫計試作品 (天野氏考案)
1. 製鋼用高溫計部分品 (同右)
1. 同 說 明 圖
15. 吳海軍工廠 (製鋼部, 製鋼實驗部)
1. 吳式高溫計 (發明者 佐々川清氏 大室唯市氏)
- イ. 平爐, 電氣爐内熔鋼溫度測定用高溫計 (F 型)
- ロ. 高周波爐及懸堰内熔鋼溫度測定用高溫計 (H 型)
1. 測定用計器 (ミリボルト計)
1. 圖 表
- イ. F 型, H 型高溫計構造圖
- ロ. F 型による爐内溫度測定狀況圖
- ハ. H 型による高周波爐内溫度測定狀況圖
- ニ. 起電力對溫度關係曲線圖
- ホ. 測定成績例圖表
1. 高溫計の構造並に使用説明圖
16. 株式會社横河電機製作所
1. P-4 型携帯用電位差計式高溫計
1. OP-2 型光高溫計 (700—1300°C, 1200—1800°C)
17. 株式會社理學電機製作所
1. ラウエ法カメラ
1. 陰極線カメラ
1. 分 溜 ポ ン プ
1. S-F 型セミユニバーサルカメラ
1. 金 屬 管 球
1. 額 7 枚
18. 合資會社小松英製作所
1. 宇野式自寫膨縮裝置

1. タンマン式電氣爐
1. 耐火木材を使用した電氣抵抗爐
19. 松永商店
 1. エルマ萬能光度計 横型(比色分析用)
20. 株式会社日立製作所
 1. TOT 型光學高溫計
 1. DT 型自動溫度調整器
 1. Q₃ 型炭酸ガス計(1・CO₂ 型發信器付)
 1. 火床棒(グリーンワルト式に使用のもの)
 1. リンクチェーン
 1. 陸上機模型
 1. 特殊ロール(グレンロール)
 1. 同上切斷面顯微鏡寫真
 1. ヒュールング(ロール嚙込誘導金物)
 1. 其の他各種寫真
21. 株式会社土井商店
 1. 橋本式瞬間水分試験器(A型)
 1. 同 上 (B型)
 - 供試品 サンプル瓶 2個
 - 同 タンク壓力計 3個
 - 同 藥品 5本
22. 田中科學機器製作株式会社
 1. TSK ゲツケル型ガス分析装置
 1. 新改良型 TSK 萬能ガス分析装置
 1. 酸化炭素定量装置
 1. リチャード萬能油試験器
23. 合名会社日本熱電機工業所
 1. 鐵及び鋼中ガス定量装置(真空熔融法)
 1. 熱電氣式高溫計
24. 理化學器械製作株式会社
 1. 日本學術振興會第十九小委員會制定
 - 鐵鋼中水素ガス分析装置
 - 窒素定量装置 1組
25. 日本學術振興會第十九小委員會
 1. 學振第十九小委4號 鐵及び鋼水素分析方法
 1. 同 6號 鋼の結晶粒度測定方法
 1. 同 7號 光高溫計による熔鋼溫度測定方法
 1. 同 8號 砂疵に依る鋼品位判定方法
 1. 同 9號 鐵及び鋼酸素分析方法(迅速法)
- 26・27 日本特殊鋼株式会社
 1. 日特式鋼中酸素定量装置
 1. 真空熔融法に依る鋼中ガス分析装置
 - イ. 日特式炭素螺旋真空爐
 - ロ. 真空爐部品
 - ハ. ガス補集装置
 - ニ. ガス分析装置
 1. 鹽素法に依る鋼中の非金屬介在物定量装置
 - イ. 日特の試薬
 - ロ. 高溫ガス反應管
 - ハ. 鹽素處理後の鋼試料標本 數種
 - ニ. 非金屬介在物ノ概本及び寫真 數葉
1. EKO 自動化學分析装置
 - ポーラログラフ
 1. 熱電堆式比色濁濁計
 - ネフエロ・コロリ・メーター
 1. 石英分光寫真装置
 - スペクトログラフイック・アパラタス
29. 株式会社白井松器械舗
 1. 超電子顯微鏡
 1. X 線金屬管球
 1. X 線分光寫真機
 1. WI 型 X 線カメラ
 1. 高溫用 X 線カメラ
 1. X 線メタログラフ
 1. コンパレーター B 型
 1. 集注法 X 線カメラ A 型
 1. 同 上 B 型
 1. X 線カメラ用モーター
 1. グラフスケール
30. 八洲光學工業株式会社
 1. 工具用顯微鏡 YXC
 1. 金屬顯微鏡 YMD
 1. 金屬顯微鏡 YME
 1. 金屬顯微鏡寫真装置 YMB
 1. ゲレンク金屬顯微鏡
31. 株式会社高千穂製作所
 1. オリンパス中型金屬顯微鏡寫真装置
 1. オリンパス大型金屬顯微鏡 トランス付 二個
 1. オリンパス小型顯微鏡寫真器
 1. オリンパス概観寫真装置
 1. オリンパス光源ランプ トランス付 二個
 1. オリンパス計測顯微鏡
 1. オリンパス捻子切工具検査器
- 32・33 合資会社丸本工業商會
 1. 鐵鋼炭素急速定量装置(ストレーライン式)
 1. 金屬顯微鏡試料琢磨機
 1. 壁掛型高溫計
 1. TO 型光高溫計
 1. 熱電氣式表面指示高溫計
 1. 讀取望遠鏡
 1. 測定用マイクロスコープ
 1. ハンドプレス
 1. 研磨紙取付器
 1. 金屬試料研磨用材料類
 1. 原 石
 1. シリマナイト保護管
41. 三菱鋼材株式会社
 1. M・K 鋼永久磁石 190 種
42. 三菱重工業株式会社東京機器製作所
 1. 車輛用發動機曲軸(完成品)
 - 同 上 斷面見本
43. 株式会社新潟鐵工所
 1. 自硬性鑄鐵製高速ゲーゼル機關氣筒

同空冷式ディーゼル機關氣筒

44. 株式会社小松製作所

- 1. 内燃機關用氣筒頭
- 1. 鑄型用中子
外に参考品數點並に寫眞

45. 株式会社明石製作所

- 1. 繰返し捻り及び曲げ試験機 (シエンク型)
- 1. 手持振動計
- 1. 可變標長小型歪計 (ADE)
- 1. 車輛振動計 (HWV)

46. 精密機製作所

- 1. 5 噸萬能試験機
- 1. 500 疋パネ試験機
- 1. 5000 疋振り試験機
- 1. ビツカース硬度試験機
- 1. ロックウエル硬度試験機
- 1. 針金疲勞試験機

47-48 株式会社東京試験機製作所

- 1. ユニバソメーター
2 噸攜帶用多能材料試験機
- 1. 鋸 總 盤
- 1. 「アムスラー型」5 噸多能材料試験機
- 1. 材料試験機検査器
- 1. ショアー硬度計
- 1. 30 疋シャルビー衝擊試験機

49. 株式会社内外製鋼所精機部

- 1. 硬 度 基 準
 ヴィッカーズ硬度基準
 ショアー硬度基準
 普通型 本社特製型 (丸角)
 ブリネル硬度基準
 VRS 硬 度 基 準
 硬度基準用箱
 ロックウエル硬度基準 (丸角)
- 1. 其他材料見本及び説明書備品

50. 株式会社島津製作所

- 1. 型式 TC 熱電式 型式 溫度指示調節計
- 1. OPD 型 光高溫計
- 1. 分光分析装置 QM 60 型
- 1. 島津コンパレーター A 型
- 1. 型式 T.R.L. 溫度記錄計

51-52

53. 東京芝浦電氣株式会社

- 1. 原子水素熔接装置見本
- 1. 高周波表皮焼入
附 同上焼入装置寫眞
- 1. 補償熱起電力精密高溫計

61. 品川白煉瓦株式会社

- 1. 製鋼爐用珪石煉瓦 (電氣爐)
- 1. ガス爐用珪石煉瓦 (人造石油瓦斯分解爐用)
- 1. 特殊高礫土質耐火煉瓦
スラジスト A-1

同 No. 1
同 No. 4

- 1. 高溫度用斷熱耐火煉瓦
 シリカベライト
 シャモットベライト

- 1. 製鋼用耐火煉瓦
 ノズルストツパー

62-63 川崎窯業株式会社

- 1. 電氣爐天井煉瓦 (500 疋電氣爐用アレックス煉瓦)
- 1. 50 疋平爐天井煉瓦 (123 回にて珪石煉瓦熔損のため作業中止, アレックスと珪石の比較)
- 1. 高マンガン鋼用湯口湯止煉瓦 (使用したもの)
- 1. カンヂツト煉瓦 (クロムマグネシヤ質)
- 1. アレックス煉瓦 (ムライト質)
- 1. 自社製クロム煉瓦と他社製クロム煉瓦との比較

64. 九州耐火煉瓦株式会社

- 1. コラント煉瓦
- 1. ムレックス煉瓦 A・B 3・5
- 1. ボーキサイト煉瓦 2・3
- 1. アルマナイト

65. 報國砂鐵製煉株式会社

- 1. 純鐵「インゴット」
- 1. 同上原料 (砂鐵, 石灰, 無煙炭)
- 1. 自社純鐵を原料とせる製品數種

66. 富士電爐工業株式会社

- 1. ライトバス電氣爐 (寫眞 2 葉)

67. 横須賀海軍工廠

- 1. 熱風式キヌボラ模型 (石川薫氏考案)
- 1. フェロシリコン 1. 石 灰 石
- 1. 骸 炭 1. 銑 鐵
- 1. 鑄 鐵 屑

68-69 大洋鑄機株式会社

- 1. サンドブレンダー 1. サンドミル
- 1. 通氣性試験器 1. 砂試験用砂搗器
- 1. ロータツプ試験用定時篩器 1. 砂試験用篩
- 1. 生型硬度試験器 1. 燒型硬度試験器
- 1. 熔着試験器 1. 攜帶用濕度試験器
- 1. ボンドテスター

70-71 株式会社大東工業所

- 1. DIF ストーカー

72. レイホルド株式会社

- 1. オットー式コークス爐装置及び副産物装置に關する
 イ. 寫 眞 ロ. 燃燒系統模型
 ハ. ダイアグラム ニ. 四萬號紀念鑄鐵製プレート

73. 株式会社東京火工製作所

- 1. ガス爐寫眞額 1. 回轉式重油焚二連式直火熔解爐

74. 芝浦共同工業株式会社

- 1. 高級金屬壓延機寫眞 1. 1,200 噸水壓鍛造機寫眞

75. 日本曹達株式会社新發田製鋼所

- 1. 日曹電磁用純鐵—薄板—鋼塊—鍛造丸棒
 壓延六角棒—フープ—ワイヤー
 (日曹新發田製鋼所製品)

76. 大同製鋼株式会社

- 1. 水壓式電氣爐 1. 150 噸鋼塊肉眼組織圖等